

しらぬか

2023. 7.25 NO.161

議云 だより

- 2 白糠町議会新体制始動
- 4 令和5年第2回臨時会概要
- 6 令和5年第2回定例会概要
- 8 一般質問 8名
- 17 委員会・協議会の活動
- 20 広報広聴調査特別委員会委員紹介

町民の声に耳を傾け、**白糠町のため**に頑張ります!!

(新体制になった12名の議員)



白糠町議会新体制始動

議員構成と一部組合等の派遣議員は次のとおり決まりました。これからの4年間に向けての抱負等とあわせて紹介いたします。

委員 坂本勝雄
委員 立石 巧
委員 小池 憲一

議長 富田 忠行 副議長 石田 正義

副委員長 坂本勝雄
委員 森 武人
委員 川 森 静
委員 池村美博
委員 中河敏史

◎総務文教常任委員会※1

委員長 中河敏史
副委員長 立石 巧
委員 今田睦子
委員 池村美博
委員 石田正義

◎一部事務組合等議会議員

委員 立石 巧
副委員長 坂本勝雄
委員 森 武人
委員 川 森 静
委員 池村美博
委員 中河敏史

◇釧路公立大学事務組合

福地 裕行

◇釧路白糠工業用水企業団

池村美博
坂本勝雄
折出征清
折出征清
立石 巧

◎産業厚生常任委員会※1

委員長 坂本勝雄
副委員長 折出征清
委員 森 武人
委員 川 森 静
委員 福地 裕行
委員 小池 憲一

◇広域連合議会

坂本勝雄
折出征清

◇議会選出監査委員

小池 憲一

議員紹介



氏名
年齢
当選回数

①所属・役職
②抱負・政策など
※抱負・政策などは、3項目以内とし1項目28字以内で掲載。



川森 静
61歳
1回

①産業厚生常任委員会委員
広報広聴調査特別委員会委員
②子どもや高齢者も楽しさと生き甲斐を感じ、住み続けたいと思えるまちづくりを目指す。
・子どもたちの夢と高齢者・町民の健康づくりのため、競技スポーツと生涯スポーツの両翼でスポーツの振興と発展を目指す。



今田睦子
62歳
1回

①総務文教常任委員会委員
②私は、公明党のネットワークを活用しながら道立広域公園の早期整備に挑戦し、白糠町の「子育て」「福祉の増進」「観光振興」の発展に寄与できるよう努力して参ります。



森 武人
61歳
1回

①産業厚生常任委員会委員
広報広聴調査特別委員会委員
②白糠町役場で42年間務めた、経験と知恵を活かして、町の活性化に努めます。
・町民の目線に立ち、町民が求める町政運営を実現。
・障がいを持つ方々が地域で、安心・安全に暮らせるまちづくり。



池村美博
63歳
1回

①総務文教常任委員会委員
議会運営常任委員会委員
広報広聴調査特別委員会委員
②少子化対策、若者支援として、子育て応援を進め、生きがいのあるまちづくり。
・SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえたエネルギーや環境問題対策を進めます。
・アイヌ文化を世界発信、海外から観光客を白糠に迎えます。



折出征清
51歳
4回

①産業厚生常任委員会副委員長
議会運営委員会委員
②子どもたちが将来、この町で暮らしたいと思えるように、家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを育てる教育環境づくりを目指します。
・商工業と一次産業の連携をはかり、地域経済の振興と発展に全力を尽くします。



中河敏史
68歳
4回

①総務文教常任委員会委員長
議会運営常任委員会副委員長
広報広聴調査特別委員会委員
②第一に人口減少に歯止めをかけることが重要で町内にとどまっていたただけるよう、産業の活性化と住みやすい環境を構築し、なおかつ町外からの移住を促さなければなりません。



小池憲一
78歳
7回

①産業厚生常任委員会委員
議会運営委員会委員
②独自の各種施策を柱に新規就農者等を受け入れ産業の活性化に努めます。
・白糠町の冷涼な気候を生かし移住定住の促進に努めます。
・生活環境を整備し災害に強いまちづくりに努めます。



富田忠行
70歳
5回

①議長
②災害時に迅速な対応ができるよう防災体制を強化し安全な町を目指します。
・教育や生活環境整備を推進し、住みやすいまちづくりに努めます。
・高齢者や障がい者、子育て世帯など、安心して暮らせるまちづくりに努めます。



坂本勝雄
71歳
2回

①産業厚生常任委員会委員長
議会運営常任委員会委員
広報広聴調査特別委員会副委員長
②町民と町政のパイプ役として常に町民の目線で物事を考え見据えて高齢者や子どもたちが元気で明るく温かい暮らしが広がるまちづくりを目指します。
・町民の健康体力づくり
・人口減少に負けないまちづくり



立石 巧
55歳
4回

①総務文教常任委員会副委員長
議会運営常任委員会委員
広報広聴調査特別委員会委員長
②活力あるまちに、暮らしやすい白糠町であるために町民とのつながりを大切に、皆さまの意見を反映させながら町民、議会、行政が一体となったまちづくりを目指す。地域の声に耳を傾ける場を設ける。



福地裕行
72歳
7回

①産業厚生常任委員会委員
②この78年間で首長4人↓権力は腐敗する。長いものには巻かれる。これがまちの実態です。
・議員は、しがらみを打破し、まちの未来にも責任を果たす覚悟で努めなければなりません。（自問）



石田正義
80歳
10回

①副議長
総務文教常任委員会委員
②基幹産業の振興・発展、教育、福祉、高齢者、弱者に対する支援の充実。少子高齢化、人口減少対策に取り組む。
・上茶路青少年旅行村、驚きの森で珍しい果汁ブルーベリーの栽培、商品化に取り組む。

※抱負とは、心の中に抱いている決意や志望。政策とは、政党など施策上の方針や方策を示すこと。

次回の定例会は
9月上旬です。

行政報告

外国語指導助手の着任

外国語指導助手、王 克麗（ワン ケリ）さんが、4月に着任することが、教育長から報告されました。

●着任あいさつ（抜粋）

少林寺で有名な河南省出身で、大学では、かねてから興味をもっていた日本語を専攻しました。

私は、これまで3年間、中国の高校で日本語の教師として経験を積んできましたが、まだまだ、勉強が必要だと感じています。微力ではございますが、これまでの中国語のA L Tの先輩方の功績も受け継ぎ、新しい環境で、白糠町の教育の充実のために、専心努力する所存です。

私は、この4月から、すでに幾つかの学校や幼稚園・保育園で子どもたちに接し、授業をさせていただいております。白糠町の子どもたちは、とても学習意欲が高く、一生懸命、中国語を話そうとしているので、私は非常にうれしく感じています。中国語に興味をもって、大変素晴らしいことだと感じています。

これからは、一日でも早く、白糠町の歴史や文化、そして多くの方々と接し、白糠町が進めている「ふるさと教育」推進のために、尽力したいと思っております。同時に、町民の皆さまにも親しんでいただけるよう、精一杯努力いたしますので今後ともどうぞよろしく願いたします。



王さん

5年度補正予算

一般会計補正予算（専決含む）

補正合計 1億 9586万 6千円
総 額 176億 2586万 6千円

●増額

元氣しらぬか応援券事業関係	108,503,000円
道の駅しらぬか恋問移転改築関係	65,881,000円
新型コロナウイルスワクチン接種対策費	19,108,000円
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	2,374,000円

質疑・答弁

問 新型コロナウイルスワクチン接種対策費の関係で接種対象が65歳以上と基礎疾患がある方が対象だが、前回、基礎疾患で接種している方に自動的に案内は行くのか。

答 案内は65歳以上の方のみなので、基礎疾患の方は申請をしていただいて連絡があった都度予防接種券を送る体制をとっている。

問 道の駅しらぬか恋問移転改築に係る工事請負費の関係で、株式会社環境生物保護研究所での4年度末までの調査結果は。

答 保全対象種の選定として、ハマハナヤスリ、シコタンキンボウゲ、ホソバノツルリンドウの3種が消滅の危機があるため、移植をした方がいいという結果が出ている。

問 子育て世帯の特別給付金で非課税世帯に準ずる世帯に国の支援で1戸5万円を給付するということだが、この5万円が十分だと判断されているのか。

答 低所得の子育て世帯への5万円は、今年度また新たに応援券を1万円支給すると聞いていたので、今年度は、5万円とその応援券で考えている。

傍聴者へのお願い

- 1 携帯電話、スマートフォンは電源をお切りください。
- 2 開議中は、飲食・喫煙はできません。
- 3 カメラ・録音機器の持ち込みはできません。
- 4 私語などにより議事の妨害、他人への迷惑をかけないようにしてください。
- 5 帽子やコート等は着用しないでください。

条例等

一部改正

●町税条例

地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、電気自動車等を取得した場合の軽減措置であるグリーン化特例の3年間延長や大規模の修繕等が行われたマンションに対する固定資産税の減額適用などの改正。

●白糖町国民健康保険税条例

地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、課税限度額の引き上げと軽減判定による低所得者の所得範囲の拡充に伴う改正。

●白糖町介護保険条例

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した第1号被保険者の保険料を減免しているが、5類感染症に位置づけられ、保険料の減免を令和4年度分までとし、令和4年度末に資格を取得したことにより、令和5年4月以降の期間に納期限が到来する方も対象とするための改正。

質疑・答弁

問 国民健康保険税条例の課税限度額の増額に伴う、該当世帯数と影響額は。

答 32世帯で64万円。

4年度補正予算

質疑・答弁

問 西庶路コミュニティセンター大ホールの天井部のナットが落下する状況になっているので、床の心配はないか。

答 それと建築して何年になるのか。
答 床面は、担当の方で検査を行い、構造上は問題ないと確認している。
昭和58年建築で、築後38年を経過している。

第2回 臨時会

5月
10日

- 議長選挙
- 副議長選挙
- 常任委員の選任
- 議会運営委員の選任
- 一部事務組合議員の選挙
- 専決処分の承認（令和4年度補正予算）
- 専決処分の承認（条例改正）
- 専決処分の承認（令和5年度補正予算）
- 令和5年度補正予算
- 条例改正
- 行政報告
- 監査委員の選任

一般会計補正予算（専決）

補正合計 5605万円

総 額 265億 2424万円

●増額

西庶路コミュニティセンター天井部改修工事	15,000,000円
公共施設等整備基金等	3,182,156,000円

●減額

まちづくり基金	2,933,907,000円
ふるさと納税関係	165,609,000円
釧路白糖工業用水道企業団負担金	17,259,000円
療養給付費負担金	13,288,000円
常備消防事務負担金	7,000,000円
繰出金	4,043,000円

議会に足を運んでみませんか。

町民みなさんの議会です。

定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程及び一般質問の概要を掲示しております。

町のホームページにも議会情報を掲載しております。

<https://www.town.shiranuka.lg.jp/>

条例等

一部改正

- 白糠町庶路支所設置条例
- 白糠町役場庶路支所附属集会所条例
- 白糠町使用料条例

白糠町役場庶路支所庁舎並びに附属集会所の移転改築に伴い、庶路支所及び庶路支所附属集会所の位置の改正並びに施設使用料等を改正。

町税条例

地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、国税である森林環境税の賦課徴収や特定小型原動機付自転車（電動キックボード）に係る税額の見直し、軽自動車税の環境性能割及び種別割の賦課徴収の特例の改正。

質疑・答弁

問町税条例の森林環境税の関係で、住民税に1人1,000円が加算されるということだが、非課税者も対象になるのか。

答個人住民税均等割の枠を用いて、現在、東日本大震災復興基本法に基づき、賦課徴収されていた年額1,000円が終了し、改めて令和6年度より森林環境税が導入され、同額が課税者から徴収されるので非課税者は非該当。

議員の派遣

北海道町村議会議長会主催による議員研修会、新任議員研修会、議会広報研修会並びに釧路町村議会議長会主催による議員研修会への議員派遣を承認しました。

◆北海道町村議会議員研修会【札幌市】

日時：令和5年7月4日から5日
対象：議員全員

◆北海道町村議会新任議員研修会【釧路市】

日時：令和5年7月25日
対象：新任議員

◆町村議会広報研修会【札幌市】

日時 令和5年8月16日から17日
対象 広報広聴調査特別委員会委員

◆釧路町村議会議員研修会【釧路町】

日時 令和5年11月9日
対象 議員全員

行政報告

外国語指導助手の退任

外国語指導助手、ワイレス・マシュー・ロバートさんが、7月に離任することが、教育長から報告されました。

●退任あいさつ（抜粋）

白糠で外国語指導助手としての任期を終えて、北海道で就職活動をします。

白糠町での生活に慣れてきたところだったので、「やはた」や「はまなす」などに行けなくなってしまったことも、信じられません。

今でも言葉では伝えられないほど感謝しています。その理由は、この素敵な町でたくさんの素晴らしい思い出を作ることができたからです。

特に子どもたちの笑顔を見ることを、いつも楽しみにしていました。

子どもたちが一生懸命、英語の勉強を頑張っている姿も忘れられません。

白糠の皆さんから学んだことを、生かすために、これからの自分の生き方で示せるよう努力していきます。



マシューさん

スポーツ国際交流事業

スポーツ国際交流事業を8月10日から8月21日までの12日間の日程で、インドネシアから中高生のトップレベルのバドミントン選手3名と引率者1名の計4名を白糠町に招致し、今後の競技力の更なる向上に向けて、本町の子どもたちとの合同練習や交流大会を行い、世界レベルに実際に触れる機会を得るとともに、バドミンントンの選手以外の町内の子どもたちとの交流事業も計画していることが教育長から報告されました。

農業委員の任命

本年7月19日に任期満了を迎える農業委員について、次期委員9名の任命を同意しました。

- 五十嵐政敏（新任）
- 石黒隆行（新任）
- 石田正義（再任）
- 影山 純（新任）
- 酒井伸吾（再任）
- 澁谷幸子（再任）
- 田代幸男（再任）
- 林 稔幸（新任）
- 松田浩二（再任）

※氏名の順番は50音順

契約の締結

林道橋梁補修工事（田代橋）

《5,126万円》

橋長75mの橋梁舗装工290㎡、伸縮装置取替4基、ひび割れ補修工一式等を施工。

総合体育館改修

《建築主体工事 3億3,440万円》

総合体育館（3,467.90㎡）の内外部を改修するため、屋上防水、外壁、アリーナ床などの改修を施工。

《電気設備工事 5,929万円》

建築主体工事に係る電灯設備、動力設備、映像・音響設備など電気設備工事一式を施工する。

《機械設備工事 1億8,227万円》

建築主体工事に係る暖房設備、換気設備、給排水設備、自動制御設備など、機械設備工事一式を施工。

道の駅しらぬか恋問移転改築用地造成工事

《6,588万100円》

道の駅移転改築用地を国道38号線の高さまでかさ上げするため、移転改築用地に盛土材15,689立方メートルを搬入して敷ならしをし、転圧を施工。

問契約の方法が指名競争入札ではなく、随意契約なのか。

答民間事業者が設計から施工、管理運営までを一括して行う「DBO方式」により取り進めていることから、競争入札に適さないため地方自治法に基づいて随意契約とした。

5年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計7490万2千万円

総額177億76万8千円

●増額

電力、ガス、食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費基金等	49,134,000円
牛乳乳製品しらぬか応援券事業日補助金	11,637,000円
防災行政無線伝達システム改修業務	7,997,000円
増養殖事業	3,844,000円
スポーツ国際交流支援業務	2,290,000円

第2回 定例会

6月6日

- ・行政報告
- ・特別委員会の設置

6月7日

- ・一般質問
- ・補正予算
- ・条例改正等
- ・工事請負契約の締結
- ・財産の取得
- ・農業委員会委員の任命
- ・議長の常任委員辞任
- ・議員派遣

財産の取得

津波救命艇の取得

大規模地震による津波からの避難のため、恋問地区に「津波救命艇」を整備します。

質疑・答弁

問有事の際の避難救命艇。有事の際の施錠開錠や普段の管理、あと乗船装備や備品のメンテナンス等が分かれば。

答通常は施錠されているが、揺れを感知して開くボックスの中に開錠するためのカギを入れて運用する。

備品は、船内に侵入した水を吐き出すためのバケツや防災ライト、発煙筒、救急セット、トイレに関わるような物などが装備されている。食料、飲料は今備蓄している中身の中で精査をして、収納するスペースがあるので、その中に収納する。対応年数は40年で基本的には、ノーメンテナンスとなっているが、月1回必ず点検する。

問い合わせ 提案する

一般質問

議員8名が19件23項目について質問しました。
※一般質問より1人90分以内で、町長・教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。

森 武人 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・9ページ

- 1 コープさっぽろ白糠店閉店後における不便な状況について
- 2 町内教員の残業時間の現状について
- 3 5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法に基づく分類が5類に変更されたことに伴い、教育現場の状況について

坂本 勝雄 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・10ページ

- 1 河原入り口に街路灯を
- 2 生徒の不登校引きこもりについて

石田 正義 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・11ページ

- 1 人口減少対策について
- 2 空き家対策について

川森 静 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・12ページ

- 1 防災対策について
- 2 ヘルメットの着用の普及増進について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・13ページ

- 1 庶路学園の法面^{のり}について
- 2 町営住宅の環境整備について
- 3 選挙運動用ピラ^{のり}について
- 4 越境的通学について

池村 美博 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・14ページ

- 1 脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・15ページ

- 1 1次産業の加工体験施設の設置について
- 2 酪農の現況について
- 3 久遠塾につて

今田 睦子 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・16ページ

- 1 歩道の整備について
- 2 庶路学園の法面崩落^{のり}について

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報広聴調査特別委員会
が校正したものです。

問 コープさっぽろ白糠店閉店後の不便な状況について

答 町としてスーパーを誘致することは難しい

問 令和3年末に閉店後、買い物に不自由をきたしている。ドラッグストアはあるが、スーパーでなければ購入できない商品も多々ある。町内にスーパーを誘致する考えはないか。

答 人口減少地域の経営効率化を図るため、小売店型の販売形態から、ロスが少なく固定経費も削減できる宅配事業や移動販売にシフトし、消費者ニーズに応える販売戦略を展開。こうした経過の中、ドラッグストアの進出により、品揃えも豊富になり、肉や野菜、

海産物や魚介類を取り扱う商店もあり、コープさっぽろも宅配と移動販売事業を継続していることから、町としてスーパーを誘致することは難しい。

問 終わりの見通せない物価高騰に関わり、価格や品揃えについても消費者としては考えなくてはならない。町民の声に耳を傾け、スーパーの誘致に向けた考え方が無いか改めて伺う。

答 町内で買いたい物ができない状況ではない。商工会からでもできる限りお客様のニーズに合った取り組みを検討したいと伺っている。

問 歌志内市では公設民営によるスーパーが、本年3月末に完成している。本町で作業が進められている道の駅や白糠駅前広場整備事業の中に、公設民営によりスーパーを組み込む考えはないか。

答 道の駅「しらぬか恋問」は、施設利用者の利便性向上を図るとともに地域資源へ誘導するなど、地域振興・活性化に

川森 静 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・12ページ

- 1 防災対策について
- 2 ヘルメットの着用の普及増進について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・13ページ

- 1 庶路学園の法面^{のり}について
- 2 町営住宅の環境整備について
- 3 選挙運動用ピラ^{のり}について
- 4 越境的通学について

池村 美博 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・14ページ

- 1 脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・15ページ

- 1 1次産業の加工体験施設の設置について
- 2 酪農の現況について
- 3 久遠塾につて

今田 睦子 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・16ページ

- 1 歩道の整備について
- 2 庶路学園の法面崩落^{のり}について

問 町内教員の残業時間の現状は

答 時間外在校時間の目標を掲げ、結果は公表している

問 文部科学省が2022年度の教員勤務実態調査結果を公表し、中学校教諭の36.6%、小学校教諭は14.2%が過労死ラインとされる60時間以上勤務が判明。残業時間上限となる「週50時間以上」の教諭は中学校77.1%、小学校64.5%を占めている。本町教諭の超過勤務の状況と、併せて健康状況に課題等があるか。

答 本町各学校で時間外在校時間が45時間を超えた教員数は、中学校・後期課程、小学

校・前期課程ともに1名ずつで率にすると、それぞれ2.4%、2.3%で、全国平均を大きく下回っている。また、各学校からは健康上の大きな課題を抱えている教員はいない報告を受けているが、今後においても時間外在校時間の定期的な確認とともに、全教員を対象としたストレスチェックや公務縮減に関する研修等を継続し、健康管理と働きやすい職場環境づくりに努める。

問 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、教育現場の状況は

答 平常時は換気を適切に行い、通常の教育活動を実施

問 新型コロナウイルス感染症の感染法に基づく分類が5類に変更されたことに伴い教育活動にどのような変化があったか。

答 令和3年度、緊急事態宣言の対象となった場合、合唱やリコーダー演奏、調理実習などの授業は延期や代替の内

容で実施。運動会は時間短縮で内容を精選して実施。令和5年度は、換気を適切に行い通常の教育活動を実施。運動会や修学旅行は手洗いや換気などの対策を取りながらの実施となっている。

問 教職員、児童生徒に混乱や課題等の不安要素、また、早急に改善を要する事項は。

答 5類移行に伴い「濃厚接触者」の扱いがなくなるので、同居家族に陽性者がいても、本人が体調不良でなければ登校できる。場合によっては感染が広がるリスクが高くなることも予想され、学年閉鎖等を実施する回数が増えることも懸念される。学校には、手洗いや咳エチケットの指導、換気の確保など基本的な感染症対策を継続すること。また、感染流行時においては、国のマニュアルに示された対策を講じるなど、教育活動を平常時同様に継続できるよう指導している。また、学びを保証するためICT機器を活用するなど、現段階では早急に改善を要する事項はない。



森 武人 議員



坂本勝雄 議員

町道の入り口に河原地区の標識があるが、夜は見えにくいので通り過ぎてしまい、事故に繋がりがかねない。町道と国道のT字路に街路灯を設置し、明るく、見やすくするなどの対応は取れないか伺う。

問 河原入り口に街路灯を

答 本年度中に町道交差点に街路灯を設置する計画である。国道38号線を和天別橋から300メートルほど音別方向に向かい、河原地区に右折する際、以前は国道に信号機があり目印に成ったが、いま信号機が撤去され目印がなくなった。

問 生徒の不登校引きこもりについて

答 学校と連携を図り、教育委員会も取り組みへの指導助言を行っている。新型コロナウイルスの感染等で、今、不登校・引きこもりの児童・生徒が増えていることと社会問題に成っている。町内の小中学校や義務教育でそのような事象は生じているか。

問 本町における不登校児童生徒数は令和4年度、小学生4名、中学生15名、合計19名。文科科学省で年度末に悉皆で実施している調査では、不登校の規定は「年間30日以上欠席している児童生徒数」となっている。本町の不登校児童生徒数は、新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった、令和元年

度では、小学生4名、中学生6名の合計10名で、前述した令和4年度実績と比較すると全体で約2倍に増加している状況。全国で問題として指摘されている状況が本町においても生じていると見える。本町は、特に中学生の不登校の増加が顕著となっている。

不登校への対応は、定期的な家庭訪問を実施し、段階的な登校の提案や、生活リズムを整える取り組みへのアドバイス、ICT機器を使用した授業への参加への提案、スクールカウンセラーとの面談など、その時の一人一人の児童生徒の状況に応じて、いろいろな取り組みを提案したり、あるいは、場合によっては、強い登校刺激を与えないよう見守りを行ったりしている。また、欠席が長期化している児童生徒は、学校と連携を図りながら、教育委員会も取り組みへの指導助言を行っている。

今、不登校児童生徒への対応をお答えしたが、何より大切なことは、不登校の未然防止の取り組みだと考えている。教育委員会では、各学校

に、児童生徒が楽しく、安心して豊かな学校生活を送ることができるような学校づくりを目指すよう、引き続き、指導・支援していく。

問 本町における不登校児童生徒の数で中学生の人数が多いのはコロナの他に原因があるのではないか伺う。

答 コロナを契機に乱れた生活リズムが取り戻せない、学校生活にさまざまな制限が掛かった中で学習意欲が低下したなど、中学生という多感な時期にコロナを迎えてしまったことが主な要因と考えている。

問 本町のスクールカウンセラーはどこからの派遣か伺う。

答 本町に配属されているスクールカウンセラーは、北海道教育委員会等からの紹介である。

問 人口減少対策の考

答 重要な課題であり、一層人口減少対策に努めていく

問 人口対策は、結婚、出産、子育て、安心と喜びこそが重要で、白糠に住んで良かったと思われる対策が必要と思うか伺う。

答 「人口減少」「少子高齢化」は、最優先で取り組まなければならぬ課題である。

本町においても、創生総合戦略に基づき、子育て、教育、住宅政策など総合的に展開してきた。

町独自の制度を創設し、不妊治療に経済的支援や、産前産後の精神的支援の充実、太陽の手子育て支援などさまざまな子育て支援を行ってきた。

今年度からは、希望する全ての子どもが認定こども園に入園できる体制を進めるなど、安心して住むことができるまちづくりに取り組んでいる。

問 空き家対策について

答 危険と判断する空き家を除去する手法や費用など早急に検討していく

問 空き家、危険建造物処理費一部負担の考えはないか。

答 本町において修理や除去が必要となる空き家は160件と把握している。その内、所有者が不明や所在が不明は26件、うち9件が著しく危険と判断される。

除去するにあたり課題を整理し、その手法や一部費用負担も合わせ早急に検討していく。

問 周りは普通に生活している。何10年も放置された状態で、本当に危険だ。助成金などの考え方を伺う。

答 釧路市は、令和4年度助成金1件に30万円を行い29件の実績があったと聞く。早急に一部費用の負担等を考えていく。



石田正義 議員



川森 静 議員

問 津波避難における訓練を含めた今後の啓発は

答 あらゆる観点から目線や手法を変えて引き続き啓蒙と訓練を繰り返し、啓発を続けていく

問 津波避難における自助・共助の啓発として先に行われた「新・避難訓練」は、避難を学ぶ足掛かりとしては有効と考えるが、町民全体にとってはまだまだ不十分と考える。訓練の結果を踏まえて町としては今後どのような啓発につなげていくのか伺う。

答 町は、「逃げるが勝ち」を掲げて町内会や消防団の協力のもと、延べ4,700人の町民の参加で過去3回の非難訓練を実施したが、これだけで啓発が充分であるとは言えない。今後は町民から寄せられたさまざまな意見を参考に、目線や手法を変えながら、あらゆる機会をとらえて啓蒙と訓練を繰り返し、引き続き啓発事業を続けていく。

問 訓練は、その行動から「気付き」をもたらしすが、知識を習得することは難しく、訓練以外にも学びとしての講座開設を団体や事業所、特定の組織にこだわらず、それに属さない町民にも広く機会を設けることや、その支援をすべしと考えるが、具体的な取り組みが有るか考えを伺う。

答 町としては、これまで学校関係・自治体・経済団体等の要請を受け、映像やテキストを用いて防災教育を実施してきた。今後は資料やさまざまなテクニクを用いて、大人数ばかりではなく小さな単位での教室にも展開可能な準備があり、町民からの要請にこたえていけると考える。

問 女性の立場から、防災に對して女性は弱者のイメージを少なからず持つてしまうが、例えば避難訓練にとどまらず、避難後の行動も含めて、女性が出来ること、女性でなければ出来ないことなどの知識等を学べる機会が是非必要だと思いが、少人数でも、他の専門分野とコラボするなど多様な学びの機会を得ることが可能か伺う。

答 女性からの要請を受けて、防災に對して女性に優しいイメージを少なからず持つてしまいが、例えば避難訓練にとどまらず、避難後の行動も含めて、女性が出来ること、女性でなければ出来ないことなどの知識等を学べる機会が是非必要だと思いが、少人数でも、他の専門分野とコラボするなど多様な

な学びの機会を得ることが可能か伺う。

答 町では、今までも教育現場では防災課の職員の講座以外にも消防職員の救急救命の講座、あるいは自治体や経済団体での講習会では、東日本大震災において実際にボランティア活動に参加した方を招いての講演等を実施してきた。今後、町民からの要請があれば調整をし、対応することは充分可能である。

問 ヘルメット着用が普及増進について

答 日常的な指導の中で、ヘルメット着用の啓発に努めていく

問 安全面からも児童生徒のヘルメットの着用の実態調査等はやっているのか伺う。

答 交通安全の意識向上が優先と考へ、登下校時の着用は指導しているが、努力義務である現在、実態調査等はしていない。児童生徒に対して、交通安全教室の実施を含めた日常的



な指導の中で、交通安全に對する意識の向上を図り、ヘルメット着用の啓発に努めていく。

問 安全面の観点から着用が必須と考えるが、購入時の補助等をする考えがあるか伺う。

答 努力義務である現在は、町として補助する考えはない。まずは、保護者の責任において安全面からヘルメット着用の重要性を考へて自転車を与えるべきと考える。



福地 裕行 議員

問 庶路学園の法面は無様

答 来年秋、完了予定

問 崩落の法面をブルーシートで覆ったまま復旧工事に進捗は見られないが、第三者による検証の経過を伺う。

答 設計会社は、設計内容に誤りは無いとの主張だが、町としては納得できないので、今後の対応を弁護士と協議中である。

問 今年度中に設計業務を終え、令和6年度当初予算に工事費を上程し、6年秋には工事を完了させるスケジュールである。

問 崩落から2年以上もかかるのはいかにも遅い。また原因が判然としないなか、何を基準に設計するのか。答 時間をかけ原因を突き詰めるから調査し、工法も検討する。

問 前倒しできないか。答 瑕疵責任も調査しながら進めるので、これが最短のスケジュールである。

問 順次、改良する

問 先の選挙活動で日の出・橋北の町営住宅周辺を重点的に歩き見たが、雨水滞留や軟弱路盤が見えられた。その改良と信和団地を含めた3階建て玄関の段差解消・手すりの設置も強く求められ

問 何より生活に密着した環境整備を急がなければならぬ。

問 道選管にも見解を求め

問 先の町議選で素晴らしい選挙運動用ピラが新聞折り込み等により頒布され、集票に大きく寄与したと思われる。このピラは公職選挙法や町の条例に準拠した公費負担の対象となり得たのか。

問 ビラの作成を業とする者と有償契約を締結し、その業者の請求により支払うことで良いか。

問 法令ではビラの表面に頒布責任者と印刷者の氏名及び住所を記載することになっているが、確認したか。

問 ビラの届出は3名からあったが、内2名は記載してなかった。申し訳ない。

問 公職選挙法及び町の条例に違反するのではないか。

問 道内外から13歳の生徒6人が、バドミントン留学と称してわが町に移住し、白糠学園の7年生として越境的に通学している。

問 越境的入学は問題！

問 町に移住しての通学

問 大きな問題であり、当事者としての自覚に疑問を持つ。

問 単にバドミントン留学するための手段として町民になった。年端も行かぬ子どもが親元を離れ、単身で他人の家などに住み、通学することに妥当性はない。

問 町の売名とスポーツ勝利至上主義の増長を促すことがまかり通っているのか。

問 また便宜上、赤の他人を身元引受人にしたことは責任回避の手段ではないのか。

問 町や教育委員会が主導したことはないし、北海道教育委員会の指導も受け、本人と保護者の意向の結果である。

問 今後他のスポーツ等でこのようなことがあれば、歯止めが効かず問題だが、受け入れるのか。

問 元から地元で頑張ってきた子どもとあつれきも心配である。

問 元から地元で頑張ってきた子どもとあつれきも心配である。

問 今後学校と連携し、見守っていく。



今田睦子 議員

委員会・協議会の活動

総務文教生常任委員会

◎中河、○立石、今田、池村、富田、石田 6名

5月10日 ●正副委員長互選について

5月18日 ●所管事務調査事項の設定について 他

●正副委員長互選について

委員長及び副委員長の互選が行われ、委員長に中河敏史委員、副委員長に立石 巧委員が選出されました。



中河委員長



立石副委員長

●所管事務調査事項の設定について

- ・ふるさと納税に関すること
- ・防災・減災対策に関すること
- ・白糠高校魅力化に関すること

以上の3項目を2年間を目途として集中して実施していく。また、9月定例会までの継続調査項目とした。

●議長の常任委員辞職について

5月10日の初議会において富田議長は総務文教常任委員会の委員となったが、議長は委員会に属さないことが通例となっていることから、6月定例会で辞任を申し出ることを確認した。

産業厚生常任委員会

◎坂本、○折出、森、川森、福地、小池 6名

5月10日 ●正副委員長互選について

5月18日 ●所管事務調査事項の設定について 他

●正副委員長互選について

委員長及び副委員長の互選が行われ、委員長に坂本勝雄委員、副委員長に折出征清委員が選出されました。



坂本委員長



折出副委員長

●所管事務調査事項の設定について

- ・第一次産業の振興・発展に関すること
- ・移住、定住、空き家・空き店舗対策に関すること
- ・観光事業の推進に関すること
- ・地域交通に関すること
- ・子育て支援事業に関すること
- ・環境保全対策に関すること
- ・エゾシカの有害捕獲と有効活用に関すること
- ・企業誘致に関すること

以上の8項目を実施していく。また、9月定例会までの継続調査項目とした。

上記常任委員会に所属する委員は、所管事務調査事項に設定し、閉会中の継続調査とした項目は、議会が閉会している場合でも調査がいつでもできることから、白糠町議会先例で所属している委員会で調査中、審査中の事件に係る一般質問は努めてしないことを原則としている。

問 歩道の整備について

答 早く整備を進める

問 西庶路「ふれあい児童館」前の歩道の整備は、いつ行われるのか。今年度「放課後児童クラブ」の在籍者は、46名となっている。近くに運送会社があり、大型車両の出入りがあるため子どもたちが通るたび危険だと思いが、安心して通れるように1日も早く整備できないか伺う。

答 西庶路ふれあい児童館前の町道西庶路東2条通りの歩道整備については、昨年度、測量・調査・設計を実施した結果、道路用地の確保が必要となったことから、地権者と用地の買収に向けた交渉段階であり、用地処理が整いつつ来年度において実施する計画である。

なお、庶路学園から児童館を利用する子どもたちの経路となることから安全安心に利用できるよう、できる限り早く整備を進めていく。

問 来年度の実施計画であれば11月頃までには、結果は出るということの良いか伺う。

答 令和6年度の当初予算で事業を進めたいと思っておりますので、11月頃には終わる予定です。

問 庶路学園の法面崩落について

答 崩落の原因調査に時間がかかる

問 庶路学園ができて以来、大雨の後法面が崩落し、危険だと思いが第三者の検証結果がいつ住民に報告されるのか伺う。

答 庶路学園グラウンドの法面崩落について、これまでの経過を説明すると、平成30年7月に最初の法面崩落が発生し、設計会社の責任において復旧工事を実施し、令和元年11月に工事が完成した。

しかしながら、その復旧工事が完成してから2年8か月が経過した、令和4年7月22日に再度、盛土法面の上部のグラウンド面に前回とほぼ同

じ箇所で見つかり、その後、徐々に亀裂が拡大し、延長で約75m、幅約50mの範囲で盛土法面が崩落した。

町としては、直ちに状況を確認後、設計会社へ現地を確認するように連絡をし、7月28日に設計会社と現地を確認して原因を究明するように指示を出し、協議を行ったが、この会社から自社の設計に誤りは無いことから、調査を行う考えはないという報告があり、9月6日付けで正式に文書で「今回の崩落は想定外の降雨と、周囲を含めた山全体の地勢が原因と考えられ、設計ならびに前回令和元年の補修工事に瑕疵はない」と回答があった。

町としては、想定外の降雨などが原因という設計会社主張も含め、設計・施工の妥当性について調査が必要と判断し、顧問弁護士に相談をしたところ、それらを客観的に公正に判断ができる第三者に検証をしてもらうべきであるとの回答をいただき、これを受け町として、第三者への設計の妥当性などの検証を実施するため、それに必要な予

算措置をして、同年10月11日に委託業務契約を締結し、第三者による検証を実施、その検証結果の報告が令和5年1月19日であった。これまでの経過について、2月1日に開催した議員協議会で報告している。

お尋ねにある第三者の検証結果がいつ住民に報告されるのかという点については、現在、当方の顧問弁護士と今後の対応等を協議しているもので、今しばらく時間を要する状況であることをご理解をいただくとともに、グラウンドの修復について、今後、具体的な改修スケジュールが決まった段階で、学校等を通じて保護者の方々などにお知らせしていく。

問 これからも想定外の大雨が降ると考えられるが、今後住宅への被害があった場合の対策が必要だと思いが、どのように考えているか伺う。

答 今の崩落の箇所が崩れて住宅に被害を及ぼした場合は町の責任となる。そうならない様に早急に復旧していく。

総務文教常任委員会 ◎中河、○立石、今田、池村、石田 5名
6月12日 ●白糖高校魅力化に関すること

●白糖高校魅力化に関すること
 担当課から、白糖高校魅力化のこれまでの経過と在籍数の推移や進路、進学先、新たな取り組みなどの概要説明を受けた。

【主な質疑】
問 環境教育における講演を受けて、その後にか生徒達が実体験として行うことを考えているのか。
答 今地球に何が起きているのか。根本的なところをどうしなければならないのか、実感が湧かない部分を具体的に説明をしていただき、それぞれができることから意識を変えて、環境を学んでいくためのベースとして環境のことに取り組んでいく内容。
問 給付型奨学金の詳しい内容は。
答 教育振興協議会から4年制大学に進まれる生徒に1ヶ月あたり3万円を目処に返還を伴わない奨学金として3名までを対象としている。令和4年度の決算では、過去の白糖高校卒業生分として、252万円を拠出している。

【入学者推移】

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
入学者	36人	26人	22人	26人	18人

【進路先】

卒業年度	卒業者数	進路先			
		進学		就職	
		大学(国公立、私大、短大)	専門学校等	白糖町	町外
令和4年度	19人	15.9%	31.6%	5.3%	47.4%
		3人	6人	1人	9人
令和3年度	25人	24%	20.0%	20.0%	36.0%
		6人	5人	5人	9人
令和2年度	35人	11.4%	28.6%	20.0%	40.0%
		4人	10人	7人	14人

※詳細な進学先、就職先は白糖高等学校ホームページをご覧ください。

議会運営委員会 ◎折出、○中河、池村、坂本、立石、小池 6名
5月10日 ●正副委員長互選について
●第2回臨時会の運営について

●正副委員長互選について
 委員長及び副委員長の互選が行われ、委員長に折出征清委員、副委員長に中河敏史委員が選出されました。

●第2回臨時会の運営について
 選挙第3号からの議案の取り扱いについて協議し、協議結果を臨時会で委員長より報告しました。



折出委員長 中河副委員長

広報広聴調査特別委員会 ◎立石、○坂本、森、川森、池村、中河 6名
6月6日 ●正副委員長互選について
●議会だよりの構成について

●正副委員長互選について
 委員長及び副委員長の互選が行われ、委員長に立石委員、副委員長に坂本勝雄委員が選出されました。

●議会だよりの構成について
 委員会が組成されたので、ただちに「議会だより」(7月25日発行)の作成に取りかかるため紙面構成などについて協議をしました。



立石委員長 坂本副委員長

◎富田、○石田、小池、福地、立石、折出、坂本、池村、今田、川森、森 11名
7月4日 北海道町村議会議員研修会

●北海道町村議会議員研修会
 7月4日に白糖町議会議員11名が札幌コンベンションセンターで研修を受け、会場には全道各地から約1,700名の議会議員が参加しました。

ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長のいおきべ まこと 氏から『ウクライナ危機後の世界と日本』として、プーチンのウクライナ侵攻により、日本人の意識が変わり、自衛隊の自衛力や反撃能力の強化を求める声が大きくなっており、これからの日本は、反撃能力を持ち、相手に戦争をさせないようにする必要があるのでなどの講演を聴きました。

政治ジャーナリストの田崎史郎氏から『日本政治の舞台裏』として、最新の情報や安倍政権、岸田政権の裏話などを聴きました。



研修会に参加している様子

行政視察の受け入れ

○北海道遠軽町議会民生常任委員会
 5月16日<<白糖町役場>>
 ・「太陽の手子育て支援」について



遠軽町議会議員

○群馬県太田市議会(創政クラブ)
 7月6日<<白糖町役場>>
 ・ふるさと納税について



太田市議会議員

その他の委員会・協議会活動

- 議会運営委員会 5月19日・30日
- 産業厚生常任委員会 6月27日、7月12日
- 全員協議会 7月10日
- 広報広聴調査特別委員会 7月7日・13日

このメンバーでがんばります

役場職員時代『広報しらぬか』を5年間担当していました。写真撮影から編集ソフトを駆使して記事の入力まで、締め切り前は遅くまでの残業が懐かしく思い出されます。議会だよりにより携わるとは夢にも思っていませんでしたが読みやすい広報作りに励みます。 森 武人

議会広報委員になりました。町民皆さまに、町や議会の動きや取り組みを、分かりやすく、お伝えできるような議会だよりを目指して、発刊したいと思いますので、よろしくお祈りします。池村美博

「読みやすい」「分かりやすい」紙面で、町民の皆さまに議会を身近に感じて頂ける広報紙作りを目指し、皆さまのご意見も参考にして先輩議員たちと知恵を絞りながら取り組んで参ります。よろしくお祈り致します。

川森 静



町民皆さまに白糠町議会に関心を持って頂けるよう議会活動の内容をできるだけ詳しく分かりやすく伝えられるよう工夫して参りたい。合わせて、町民皆さまから御意見等も頂ければと思っております。 中河敏史

今期の広報委員長になりました、立石です。新体制となり、町民の皆さまに議会の動きや取り組み等を分かりやすい議会だよりを目指して努めて参ります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお祈り致します。 委員長 立石 巧

前期に続き、広報委員をさせて頂くことに成りました。議会が審議した結果を分かりやすく町民の皆さまに読んでいただける、議会だよりの編集に努めます。よろしくお祈り致します。町民の皆さまのご意見やご希望をお寄せください。 副委員長 坂本勝雄



あしがき

第2回定例会が新人議員4名を含む12名で今期4年間のスタートとなりました。

議会改革活性化の結果で1名減となり、今回の定例会では新人議員も含めて8名が、一般質問を行い行政に思いを質問しました。新人議員は初めてとは思えないほどの素晴らしい質問をしていました。今白糠町はふるさと納税等で少しずつ良くなってはきましたが、まだまだ課題も多く町民の皆さまに寄り添い安心して暮らせるように議員一同、力を合わせ努めて参ります。広報委員も新体制となり、1人でも多くの方に議会や議員の仕事が分かりやすく伝わる広報紙の製作に取り組み若い人にも興味を示してもらえたいと思います。

(立石)



今号の表紙



今号の表紙は、改選後の初議会(第2回臨時会)休憩時間中に役場前での集合写真の撮影の様子です。当日は、曇りでしたが写真を撮るときに晴天となり、今回の新人議員は何かやってくれるような気がします。